

「伝統文化・人形浄瑠璃を通した福島県への心の復興事業」報告

【人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』③】(3月実施分報告)

- 1) 日 程 平成28年3月11日(金)～13日(日) 3日間
- 2) 場 所 川俣町中央公民館(ホール)  
福島市子どもの夢を育む施設こむこむ(わいわいホール)
- 3) 参加劇団 さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座(10名)、八王子車人形西川古柳座(1名)
- 4) 主 催 やまびこ座・こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクト  
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
- 5) 共 催 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館、hand to hand project kawamata
- 6) 実施記録

長期体験/人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』

月/日(曜)	時 間	会 場	内 容	参加者数
3/11(金)	19:00	川俣町中央公民館	『ふれアート』inかわまた 4回目	7名 (大人7)
3/12(土)	10:30	伊達郡川俣町字樋ノ口11番地		8名 (大人8)
3/13(日)	10:30	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ 福島市早稲町1番1号	『ふれアート』inふくしま 3回目	15名 (子15)

7) 写真で見る公演及び調査記録

人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』inかわまた

3/11(金) 12(土) <4回目>



発表会の様子





- 前回から日が開いてしまい、忘れていたかもしれない…と心配する参加者も何名かいたが、ワークショップが始まると、みなさん真剣に取り組み、少しでも学んだことを吸収しようとする意欲的な様子が見られた。
- 発表会当日は三人遣いの基本動作である「型」を披露し、最後には生演奏に合わせて人形が「川俣音頭」を踊りながら客席を練り歩いた。地域に根付いた題材であったためか、観客も節を口ずさみ、手拍子を打ちながら演目に参加した。
- 夜には hand to hand project kawamata の方が企画してくださり、ワークショップ参加者と交流会を行った。「楽しかった」「機会があればまたやりたい」という声が多く、今後も継続して活動を受け、今回のワークショップを通してうまれた川俣町の方々とのつながりをさらに深めていきたいと感じた。

### 人形浄瑠璃体験ワークショップ『ふれアート』inふくしま 3/13 (日) 3回目



- 開演前に少し稽古をして、発表会となった。こどもたちが大きな人形を一生懸命に、なによりとても元気がよく、楽しそうに動かす様子に、こちらが元気をもらい、自然と笑みがこぼれた。
- 発表会では「二人三番叟」「立ち回り」「さくらさくら」を披露。人形操作はもちろん、口上や鳴り物もすべて子どもたちがおこなった。こどもたちの発表で、来場者は元気をもらおうと同時に伝統人形芝居をより身近に感じてくれたのではないかなと思う。
- 終演後、こどもたちからまたやりたいという声や、大きくなったらあしり座に入りたいという声をきくことができ、伝統人形芝居に触れて楽しいと感じた経験をここで終わらせぬよう、今後も活動を継続したいと感じた。